

食材を使った実験で 噴火の仕組みを学ぶ 洞爺湖ビジターセンター「キッチン火山じっけん」

1月30日、洞爺湖ビジターセンター自然ふれあい行事「キッチン火山じっけん」が同センターで行われ、児童7人が参加し、食べられる材料を使って火山のメカニズムを学びました。

当日は、最初にスライドショーで、洞爺湖の成り立ちや有珠山の活動の歴史を勉強しました。

続いて、チョコレートをマグマに、ココアを大地に見立て、溶岩ドームが出来てゆく様子を再現しました。

児童らは、洞爺湖や有珠山を知るおいしい実験をたのしみました。



楽しみながら実験作業を行う児童たち

1月26日、編み物教室（ウイメンズ洞爺湖主催）の第1回が、文化交流センターで行われ、約25人が参加して、手編みのセーターやベスト作りに励みました。



集中して作業を行う会員の皆さん

同教室は、ウイメンズ洞爺湖の冬の恒例行事で、2月4日、11日の3回シリーズで行い、思い思いの手編みの作品を完成させました。

2月22日から26日の期間中には、役場ロビーで編み物展を開催し、会員が作った作品約60点を展示し訪れた町民らに披露しました。

ウイメンズ洞爺湖 編み物教室

親子で料理をしながら食について学ぶ親子料理教室（ヘルスマイトの会主催）が、1月30日洞爺総合センターで行われ、親子7人が参加しました。



仲良く料理作りに挑戦する親子

当日のメニューは、オムライス、コンソメ野菜スープ、コロコロヨーグルトの3品。

「食べ物のはたらき」をテーマにした話を聞いた後、調理を開始しました。

参加した子どもたちは、会員の皆さんの指導を受けながら、意欲的に取り組み、おいしく仕上げました。

料理作りで親子仲良く ヘルスマイトの会料理教室

会場に歌声響く フラワービーンズ発表会

洞爺地区で活動している女声コーラスグループ「フラワービーンズ」の第31回発表会が、洞爺総合センターで2月6日開かれました。約150人の住民らが来場し、美しいハーモニーを楽しみました。

発表会は、全体5部構成で、「真っ赤な太陽」でオープニング。指揮の加藤亮子さんの指導で、赤とんぼなど童謡を来場者全員で合唱したり、スチールパンの演奏や加藤さんの独唱など多彩なプログラムが披露されました。

最後に「洞爺湖畔の夕月に」を全員で合唱し、楽しいひと時を過ごしました。



聴衆を魅了したフラワービーンズの歌声

まちのわだい

